

褐毛和種の妊娠及び分娩に関する調査

木村 貞夫*・美濃 貞治郎*

KIMURA, S. and MINO, T. Survey on the Pregnancy and Parturition of Japanese Brown Cattle.

褐毛和種の妊娠・分娩の生態に関してはまだ調査例がないので、飼養管理上の基礎資料として当部における既往の成績をとりまとめた。

調査牛 当部繋養の熊本県産褐毛和種 14 頭の 1948～1955 年における初産から 6 産までの正常分娩延 42 例について本調査を行った。なお、調査牛は何れも正常な発育をなしたと認められるものである。

調査結果 一括表示すれば次の通りである。

摘要 (1) 初産牛の受胎時における平均月齢は黒毛和種(初交配の平均月齢 21.13 ヶ月)一以下単に黒牛と略す一と大体同様であるが、その時の平均体重は黒牛(291.6 kg)より若干大きい。また完熟期の体重

も黒牛より大きい。完熟に達する月齢はほぼ同一と認められる。

(2) 産仔の生時体重は 22～44 kg に及ぶが、平均すれば黒牛(♂ 27.93 kg, ♀ 25.35 kg)より約 3 kg 大で、♂仔は♀仔より平均して約 2 kg 重かつた。

(3) 在胎日数は 272～293 日で、平均すると黒牛(283.18 日)よりやや短かく、産仔が♀の場合は♂の場合より僅かに短かつた。

(4) 娩胎の排出経過時間は黒牛(3時間 41 分)と大差なく、娩胎の重量は黒牛(3.09 kg)より若干大で、胎児胎盤数は反対に黒牛(69.95 kg)の方がやや多かつた。産仔の生時体重と娩胎との間には正の相関が認められ、胎盤の数と大きさとの間には逆比例の傾向が認められた。

*九州農業試験場

第 1 表 妊娠・分娩に伴う体重の変化

産 次		I	II	III	IV~VI
調 査 例 数		13	10	7	12
受胎時	月 令	18~25 (21.3)	30~39 (34.8)	41~52 (47.9)	52~64 (60.4) 以上
	体 重 (kg)	298~380 (327.5)	377~470 (414.4)	410~553 (451.7)	395~532 (450.6)
妊 娠 中 体 重 (kg)	1 ヶ月目	300~380 (337.1)	382~487 (424.7)	410~554 (451.1)	391~527 (454.8)
	2 //	305~398 (347.2)	377~497 (434.1)	410~561 (452.7)	384~523 (453.5)
	3 //	330~410 (358.2)	370~505 (440.3)	416~580 (464.3)	402~539 (458.0)
	4 //	343~420 (372.5)	371~527 (452.9)	432~585 (476.6)	395~548 (460.5)
	5 //	357~435 (384.2)	404~528 (466.7)	433~574 (491.1)	412~560 (467.1)
	6 //	358~458 (400.7)	406~532 (474.5)	413~580 (499.1)	429~559 (488.0)
	7 //	372~452 (410.8)	420~544 (483.6)	444~584 (502.6)	429~580 (492.0)
	8 //	390~465 (428.2)	448~570 (496.5)	457~595 (511.3)	457~591 (505.7)
	9 //	402~470 (438.9)	457~572 (508.2)	452~607 (520.6)	468~606 (523.3)
	分娩直前	412~485 (446.4)	459~577 (510.2)	470~599 (525.4)	474~608 (525.7)
分娩後重 (kg)	分娩直後	372~435 (411.8)	422~538 (473.9)	422~551 (478.3)	425~550 (477.3)
	1 ヶ月後	311~429 (398.8)	412~546 (467.2)	420~537 (473.0)	410~545 (468.3)
	2 //	318~475 (399.3)	410~548 (460.3)	413~528 (461.3)	395~540 (454.0)
	3 //	330~460 (397.8)	388~545 (454.8)	412~509 (453.9)	403~562 (450.8)
妊娠中増体重 (kg)		87~158 (118.8)	51~137 (95.8)	23~140 (73.7)	0~123 (69.7)
分娩後3ヶ月間減体重 (kg)		-30~88 (48.6)	-7~93 (55.7)	39~95 (71.6)	33~96 (74.1)

備考 () 内は平均値。

第 2 表 分娩に伴う諸調査

産 次		I	II	III	IV~VI	平 均
区 分						
産仔生時 体重 (kg)	♂	(7) 31.1 26.4~40.5	(3) 36.4 29~44	(4) 29.6 28~30.9	(9) 31.8 24.2~38.7	(23) 30.6
	♀	(6) 26.0 22~31	(5) 29.0 25~34	(2) 29.9 24.3~34.5	(3) 30.4 25.8~33	(16) 28.2
在胎日数	♂	(6) 280.3 273~288	(4) 282.5 277~288	(4) 287.0 281~290	(9) 283.3 273~289	(23) 283.0
	♀	(6) 280.5 278~283	(6) 279.2 272~284	(2) 281.5 281~282	(4) 285.8 279~293	(18) 281.4
娩胎排出経過 時間 (時・分)		(7) 3.19 2.00~4.45	(7) 3.34 3.00~4.20	(4) 3.18 2.35~3.45	(10) 4.22 3.15~5.10	(28) 3.45
娩胎重量 (kg)		(8) 3.1 1.8~4.0	(8) 4.0 3.0~4.9	(5) 4.5 3.0~6.1	(10) 3.7 2.8~4.4	(31) 3.8
胎 盤 数		(8) 56.4 32~77	(8) 61.2 54~69	(5) 75.0 64~83	(10) 60.2 34~98	(31) 61.4
分娩後発情再起 までの日数		(9) 50.9 18~96	(7) 39.7 10~62	(5) 50.5 34~64	(11) 44.4 22~62	(32) 46.1

備考 1. () 内の数字は調査例数, 太字は平均値。

2. 娩胎排出経過時間は, 分娩後から娩胎の排出が終るまでの時間。

(5) 分娩後から発情再起までの日数については黒牛に同様な調査例がないので比較出来ないが、黒牛では分娩後から次産における初交配までの日数が平均 68 日 (25~177 日) となつている。

(6) 各産次における分娩間隔は 1~2 = 13.5, 2~3 = 13.1, 3~4 = 12.5, 4~5 = 16.8, 5~6 産間 = 16.6 ヶ月となつているが、本調査例では他の試験の

都合上、交配を若干延期したものも含んでいるので、正常な分娩間隔は更に短縮されるものと思われる。

(7) 本調査はまだ例数が少ないので、上記諸項目についての産次別、年齢別、季節別等の差異を検討し得なかつた。今後更に多くの調査研究が必要と思われる。

参考文献

畜産試験場年報 No.12 (1946) p.21~27.